

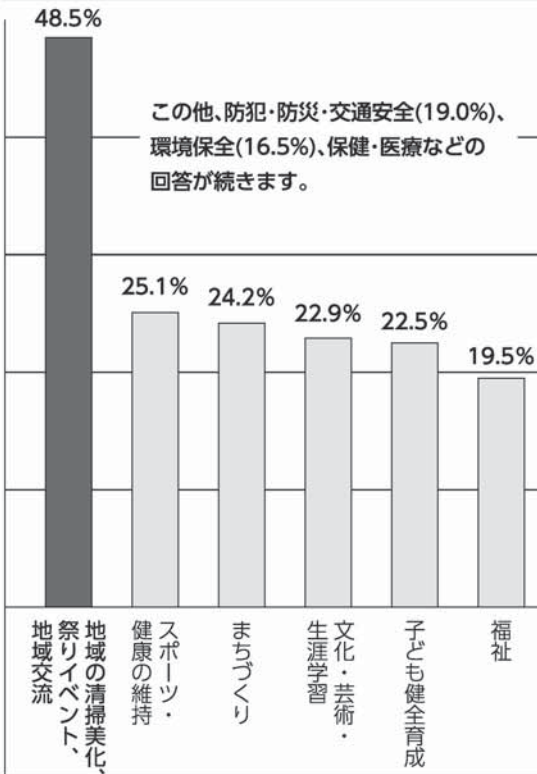
この春、新しいことを始めよう
まだ間に合う、自治会デビュー！



問合せ

市民参加推進課
☎982・9685 ㊚981・5392

「今後参加してみたい活動の分野」について



平成29年度吉川市市民意識調査報告書から

地域交流活動をしたと思
っている方へ

平成29年度の市民意識調査では、今後、ボランティアなどに参加したいと思う方の約半数が地域交流活動に参加したいと回答しており、地域活動への関心の高さがうかがえます。

自治会は、地域の問題を地域で解決するための、地域住民による自主的な組織です。

年間を通じ地域の特色に沿って活動している、地域住民が活動に参加することで交流が深まり、災害時などは、その地域の交流が住民の大きな助けになります。

地域の課題もみんなで解決

自治会行事などを通して近所の方と親睦を深めることで、防災・防犯や、ごみ集積所の維持管理など、個人で解決するのが難しい課題なども自治会で一つずつ解決していきます。

また、地域交流活動などを含むボランティア活動をする人は、むしろ人と比べて「幸福度が高い」という調査結果もあります。

まずはきっかけから

「自分がどの自治会か分からない」「自治会について知りたい」と悩んでいる方は、市民参加推進課にご連絡ください。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



問合せ

政策室
☎982・5112 ㊚981・5392

川の郷 よしかわ

▼先日、サケの稚魚を中川へ放流するイベントが開催されました。吉川小学校のPTAや地域の皆さんの準備の下、卵からふ化した稚魚をみんなで中川へ放流するこのイベントは、今回で8回目となります。▼サケは5年ほどで元の場所に帰る母川かきせいの帰郷性を持っているので、順調ならばもう中川にも遡上さかのぼしてきているかもしれません。参加した子供達はそうした話をワクワクしながら聞いており、川や環境を考える良い機会となりました。



中川で行われたサケの稚魚の放流

▼吉川市では「川の郷・よしかわ」を取り戻そうと、平成28年に中川での「川まつり」を開催。高瀬舟の出航やEポートレース、中川の歴史写真展などを展開しました。平成29年にはウェットランドで「水辺で遊ぼう」を開催。家

族でのカヌー体験やザリガニ釣り、川魚の水槽展示などを行いました。今年は大場川での和舟体験を計画しています。



①川まつりで再現された高瀬舟
②今年計画している和船体験
③ウェットランドで開催した「水辺で遊ぼう」

▼先日開催した「市長キャラバン」においても、中川を管理している国土交通省の職員をお招きし「中川を活用したまちづくり」について参加者の皆さんと意見交換を行い、大変に盛り上がりました。▼川に囲まれ、川と共に生きてきた「よしかわ」。これからも市民の皆さんからアイデア、ご意見をいただきながら、共働 ※による「かわまちづくり」を展開してゆきたいと思えます。

※共働 市民と行政が課題を共有し、解決に向け共に動くこと。市長として私が掲げる理念の一つ。